

# 使いやすく、町民に親しまれる庁舎へ

施設の老朽化や施設整備の課題により、国の制度を活用して建て替えを行うことになった消防庁舎。町民説明会や訓子府消防団員、関係者と協議を重ね、さまざまな意見・要望を踏まえ、基本設計が決定しました。今後は、より詳細な設計となる実施設計を行い、年度内に工事着手するよう進めていきます。

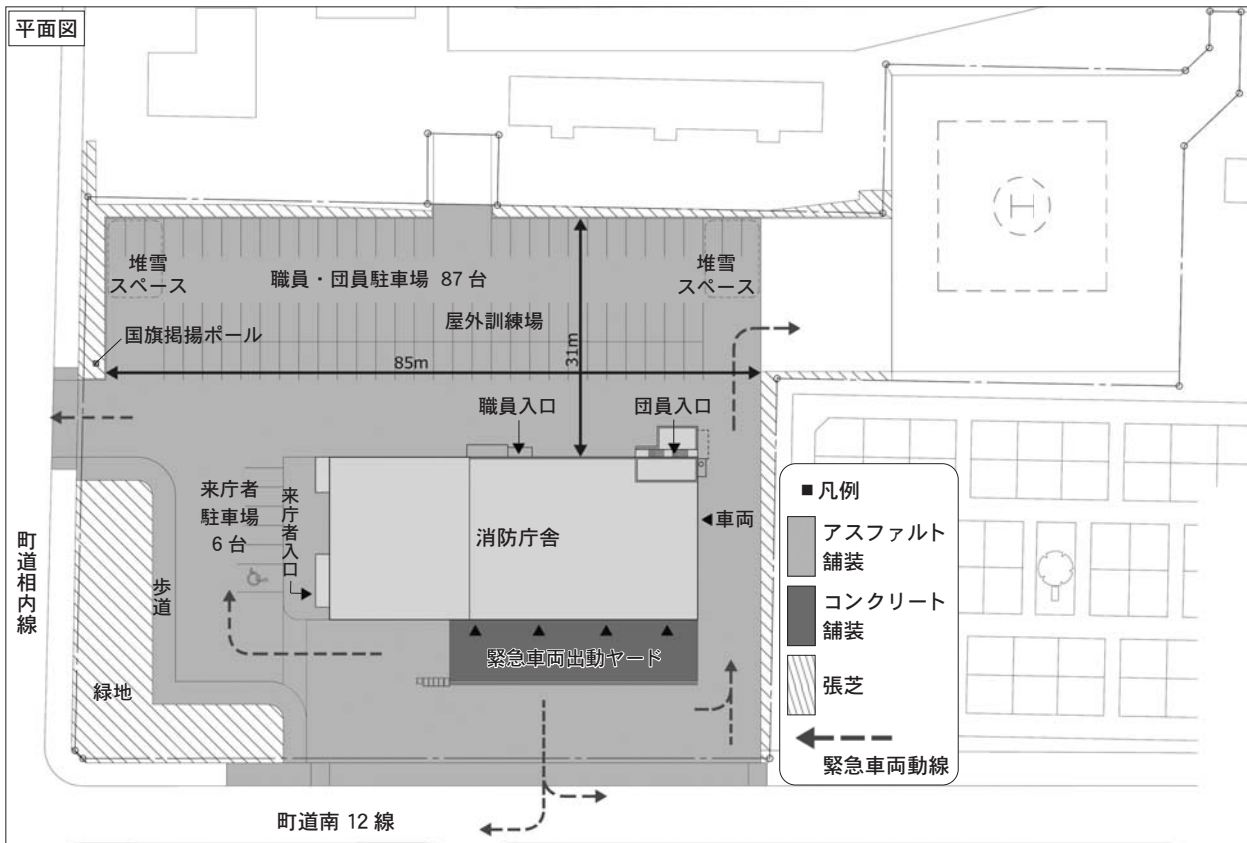


■開放感のある玄関ホール

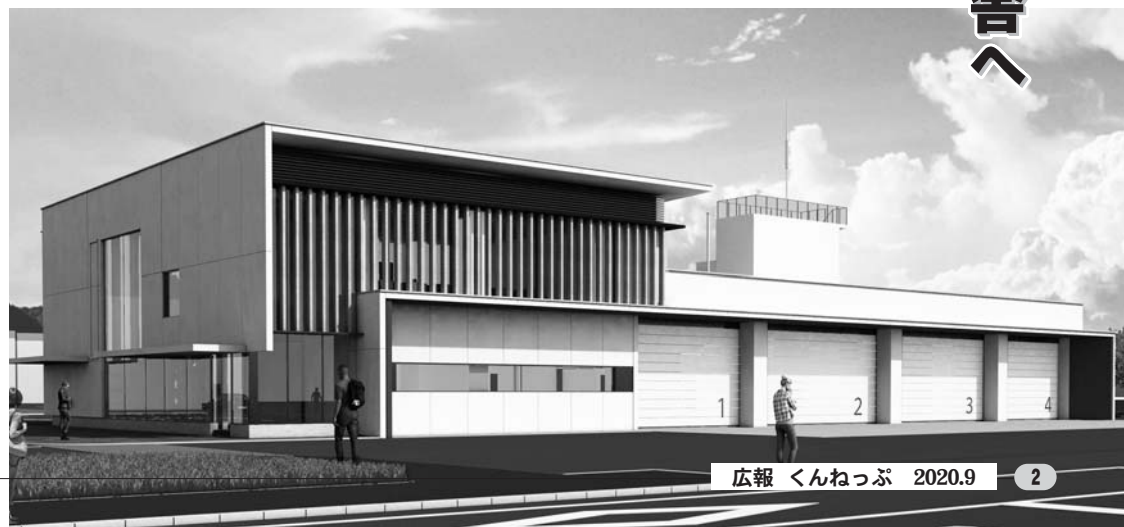
新消防庁舎は、職員や団員が使いやすく、町民に親しまれるような施設をめざしています。また、高度な消防活動を行うために、さまざまな防災訓練に対応した設備を整備します。

## 施設の特徴

- ①職員や団員が迅速に出勤できるように職員・団員駐車場を入口に近いところに設置するほか、事務室や仮眠室からの出動動線を重視した配置など職員・団員の活動に配慮
- ②迅速な出動に配慮したゆとりのある車両
- ③女性団員の増加傾向を踏まえ、更衣室や洗面所などプライバシーに配慮
- ④屋外訓練場としても活用するための広い駐車場
- ⑤団員用玄関の風除室では、煙体験室としての利用も可能
- ⑥屋上には、ホース乾燥塔を併設した訓練塔を設置し、放水訓練や救助訓練などが可能
- ⑦緊急車両出動ヤードでの車両点検整備の様子や屋外訓練場での訓練など、町民が消防活動を見ることが可能
- ⑧吹き抜けの玄関ホールには、ハザードマップや防災情報などを常設展示するギャラリィを設置し、町民に向けて情報発信する



## 消防庁舎の基本設計が決まる



### 長谷川副大臣来町 建設予定地視察



総務副大臣の長谷川岳参議院議員が、7月17日に町を訪れ、消防庁舎建設やインターネット高速通信サービス光ファイバーの整備などについて、意見交換をしました。

長谷川副大臣は、消防庁舎建設予定地を視察、町や消防団員が、周囲の環境などについて説明を行いました。